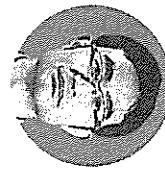


オレンジ色の記憶



藤原辰史

現代
文庫

國の圖書館の開設は、先づ米英の二国で、1850年、1851年に開館した。日本では、1873年、明治政府が文部省に「圖書館規則」を制定して、1875年に東京図書館が開館した。これが日本最初の図書館である。その後、明治時代には、多くの図書館が開設された。しかし、戦前までの日本の図書館は、主として文部省や各都道府県の施設であり、民間の図書館はほとんどなかった。しかし、戦後になると、民間の図書館が急速に増加した。1945年の終戦後、多くの民間図書館が開設され、現在では、民間の図書館が総数で約1万館を超える。これは、文部省や各都道府県の施設を含む。また、民間の図書館は、主に個人の蔵書をもとに運営されているが、一部は団体や企業による運営もある。